

令和2年度 第2回草津市健康づくり推進協議会 健康増進部会		
日時	令和2年12月22日(火)午後1時30分～3時00分	
会場	草津市役所4階 行政委員会室	
出席者	委員	内田部会長、山元副部会長、井上委員、山元委員、金田委員、中西委員、廣嶋委員〔計7名、順不同〕
	事務局	健康福祉部副部長・田中歩、健康増進課長補佐・井上昌子、同課専門員・大隅ゆかり、同課主査・大槻真里、同課保健師・塩田桃子、同課歯科衛生士・奥野景子、保険年金課課長補佐・堀江俊介
会議資料	別添のとおり	

## 次第1. 挨拶

皆様、こんにちは。健康福祉部の田中でございます。

本日、令和2年度『草津市健康づくり推進協議会 健康増進部会』の開会にあたり、委員の皆様には、御多用のところ、御出席をいただき、誠にありがとうございます。また、委員の皆さまにおかれましては、日頃より、本市保健衛生行政に多大なる御支援、御協力を賜り、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、健康くさつ21、草津市食育推進計画およびデータヘルス計画等に基づき、市民の皆様の「健康の維持および増進」を目的に健康福祉部のみならず庁内の関係課、また、関係機関と連携し、数多くの事業を進めているところでございます。今年度におきましては、7月に第1回草津市健康づくり推進協議会健康増進部会を開催させていただきました、「草津市糖尿病対策ガイドライン(第3期)」の評価や骨子案について御協議いただきました。本日は、御協議いただいた内容をもとに作成いたしました次期ガイドラインについて御協議いただきたく、協議会委員の皆様からも忌憚のない御意見や御提言をお願いしたいと思っております。

今後とも皆様方より一層の御支援と御協力をお願いいたしまして、簡単ではございますが、開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 次第2. 草津市の糖尿病を取り巻く現状と前回までの振り返りについて事務局より説明

- (部会長) ただいまの説明を受けて、皆様から御意見、御質問はありますでしょうか。
- (部会長) ガイドライン第3期、第4期(案)の違いを簡潔的に教えてください。
- (事務局) ガイドライン第3期、第4期で大きく変わった点はございませんが、変更点として第4期では、自分自身で予防していくセルフマネジメントの視点を取り入れた内容とさせていただいておりますのと、部会で意見をいただいた部分を反映させたガイドラインとなっております。
- (委員) 草津市の糖尿病予備軍が男女ともに高い原因はなにか考えられることはあるのでしょうか。男性の40歳以上の予備軍が多いことに驚きました。
- (事務局) 原因は分かっていません。糖尿病の発症までいかず、糖尿病有病対策や予防の取り組みにて、糖尿病予備軍で留まっている人数が多いと考えています。しかし、予備軍が多いことは有病者に繋がりやすいことには変わらないので、啓発はしっかりとしないとイケないと考えています。
- (部会長) 草津市は職業的にサラリーマンの比率が多く、仕事がメインで運動する習慣が少ない方が人口構成上多いと考えます。他の市町と比べ、若い層が多いので有病者まではいかないが、予備軍が多いと思いますが、いかがですか。

- (事務局) 人口構成の影響の可能性は否定できないと考えています。
- (委員) 長浜市は、高齢者数も草津市に比べ多いと思いますが、有病者・予備軍どちらも有意に低いところが気になりました。ヒントや見習うべきことはあるのでしょうか。
- (事務局) お示ししている図は年齢調整された図と認識しております。長浜市が有意に低い要因は気になるところではございます。県にてなにか御存じのことはありますか。
- (委員) 長浜市のことは情報があれば聞いておきます。
- (部会長) なにか御質問はありますか。
- (委員) 糖尿病の要因は食事と運動であると思っていて、草津市は長浜市に比べコンビニが多いと思います。理由は分からないですが、運動だけではなく食事が関わってきていると思います。
- (事務局) データーヘルス計画の立案時、特定健診の問診票項目を他市と比較した際に、草津市は野菜摂取量が少なく、運動習慣（1日30分以上）も有意に低いデータが出ておりますので、こちらも影響していると考えられます。
- (部会長) JR沿線ではない多賀町も有病者・予備群が高いことが気になります。生活習慣が草津市と似ているのかもしれませんが。
- (委員) 糖尿病になる原因は、運動や食事だけではなくストレスや心の問題もあると考えています。私自身、食べ物は気を付けていますが糖尿病予備軍に入っていると思います。なぜかと考えたとき、運動・水分・睡眠不足があるので影響しているのではないかと考えました。
- (委員) 草津市の糖尿病予備軍は有病者に比べ、なぜ多いのですか。
- (事務局) 原因は分かっていません。今までの御意見をまとめますと、他の市町と比べ、若い層が多いので有病者まではいかない予備軍が多いのではないかと、野菜の摂取量や運動習慣が少ないため予備軍が多いのではないかと、等原因が考えられるのではないかと考えております。
- (副部会長) 有病者・予備群の者の比較で、市町の差だけではなく、男女の差があると思いました。男性に比べ、女性が低いと見えますが原因はあるのでしょうか。また東近江は、以前より地域医療連携で糖尿病患者へ早期から専門職が重症化予防を行う体制があると聞いています。女性には効果が出ているのかなと思いました。働いている方は、女性より男性が多く忙しいと思いますので、医療機関等が介入しようとしても、自分の身体について考えたり受け止めたりする数は少なく、効果が出ないまたは悪化に繋がっているのではないかと考えます。男女差にどのようにアプローチしていくかが今後の課題であると思えます。
- (部会長) 市町に差があることは医療の質の差、行政の力の差など様々な要因が考えられると思いますが、市町の健康づくりに関する話や評価する横の繋がり（会議）はないのでしょうか。
- (事務局) 糖尿病予防は、保健所管轄で年数回集まり、情報共有し意見を施策に取り入れる等しております。
- (会長) 長浜市や東近江市に差があり、質問する機会や情報共有はできないのですか。
- (事務局) 質問等があれば、市町へ直接電話する連携や横の繋がりがありますので、今後契機をとらえて確認してしたいと考えております。
- (事務局) 今回使用したデータは、滋賀県保健者協議会で用いたデータです。19市町の国民健康保険団体や協会けんぽ等の団体に構成され、各代表が集まり、取り組みについての協議をしております。毎年冊子を作成し、特定健診の受診率等情報共有していますが、結果に対しての根拠等の情報共有は課題があるのではないかと考えました。
- (部会長) ヘモグロビンA1cの経年変化は草津市の有病者・予備軍はありますか。

- (事務局) 国民健康保険加入者のみ、かつ毎年度5月診療分のみ情報となりますが、糖尿病と診断を受けている方の人数は平成27年度2,834人、28年度2,849人、29年度2,786人、30年度2,858人で人数は横ばいです。ただ、国保につきましては被保険者数が減少傾向にありますので、診断を受けた方の数を被保険者総数で割り戻した割合は平成27年度30.3%、28年度30.2%、29年度30.2%、30年度30.9%で比率はわずかながら増加しています。
- (部会長) 糖尿病が多い草津市は、ストレスが多く健康寿命や平均寿命にも関わるのでしょうか。
- (委員) 草津市の健康寿命は滋賀県や全国と比べ、長くなっています。

### 次第3. 草津市糖尿病ガイドライン（第4期）の策定について事務局より説明

- (部会長) 皆様から御質問、御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。第3期ガイドラインには、歯科の視点は記載がなかったと思います。
- (事務局) はい。記載させていただいておりませんでしたので、新しく第4期では記載させていただきました。
- (委員) 糖尿病と歯周病の関わりを御存じの方は少ない現状です。今後、取り組みや啓発を実施してほしいと思います。
- (部会長) 節目歯科健診クーポン配布者の受診者は多いですか。
- (事務局) 5249人の対象者がおり、その中で受診者は約500名であり少ないです。昨年度の受診率は6.8%です。
- (部会長) 節目歯科健診から糖尿病の疑い等を見つけた、また受診に繋がったということはありませんか。
- (事務局) 節目歯科健診の間診表に「糖尿病である」という問いがあります。予備軍を導き出すのは難しいです。
- (委員) 細小分類別疾患ごとの医療費の割合で、既往歴に糖尿病だけではなく高脂血症があったり、高血圧があったり合併している方がいると思いますが、そのような方をどのように疾患別に割り振りを出した%なのでしょう。また慢性腎臓病（透析なし）の方は経過観察であったり、薬剤をたくさん使用する治療はなく、医療費はあまり多くならないと考えているのですが、ほかの疾患による重なりがあり医療費が高くなっているのかなどデータの根拠がわからないと思いました。ガイドラインを策定にあたり、このデータを参考にするのはどうなのかと疑問に思いました。
- (事務局) 確認します。こちらはレセプトから統計集計した数字で、総医療費から主要な疾患別にKDBシステムより作成したものです。システムの医療費の割り振りにつきまして、滋賀県国民健康保険団体連合会に確認し、報告させていただきます。

**【確認結果】** KDBシステムの「最小分類疾病別医療費分析」における疾病別医療費の集計方法（1レセプトに複数の疾病名の記載がある場合）

- ①レセプトに記載されている診療行為を、各診療行為と紐づく疾病別に振り分け、その点数を合計し、どの疾病の点数が最も高くなるかを求める。
- ②その結果最も点数が高くなった疾病に係る医療費であるものとして集計される。

- (副部会長) 早期対応の主な取組への意見です。教室等40歳代への働き世代は忙しくて、アプローチが難しいと考えます。スマートフォンの普及で紙媒体の必要性がだんだん低くなってきており、啓発資料はスマートフォンに順応した（相手方のニーズに合った啓発媒体）を使用し、教室等を工夫するべきであると思

いました。またコンビニと連携し、例えばおにぎりのみを購入する方に対し「プラスで野菜もとりましょう」と啓発していく等視覚で訴えられる媒体の作成をしてほしいと思います。

- (事務局) 働き世代にアプローチは難しいと感じております。対象相手の生活に即した啓発活動ではないと、対象の身につくような教室の展開は難しいと思いますのでそちらを踏まえ、考えていきたいと思います。
- (中西委員) 子どもたちのパンの摂取が多いことが気になります。両親の忙しさや楽しさは理解でき、パンはいつでも身近に食べることができますが、野菜をプラスワンで摂って改善していかないと、今後様々な病気が増えてくるのではないかと考えます。
- (委員) 最近、野菜や発酵食品を食べる献立が少ないと考えます。家族や子ども孫には野菜を食べてもらえるように、煮物など野菜を持って行って食べるように伝えていきます。
- (部会長) コンビニやスーパーには美味しいパンやお菓子がありますが、糖尿病有病者・予備軍の方にはそこに打ち勝つような知識や啓発でのアプローチが必要だと思います。
- (部会長) 質問ですが、ガイドライン3期から4期への評価や成果の見込みを教えてください。
- (事務局) ガイドラインの目標数値の目安として、目指すところは記載しております。特定健診受診率は横ばい、保健指導実施率は上昇しています。改善が見られない項目もある一方で、有病者の増加抑制や治療継続者の増加は改善傾向にありました。結果を踏まえ、さらに改善ができるようこれからも取り組みを進めて参ります。
- (部会長) 何か御意見はありますか。それでは、草津市糖尿病対策ガイドライン(第4期)はこの内容で策定となりますが、よろしいでしょうか。
- (委員) はい。
- (部会長) それでは、以上でガイドラインについての協議を終了します。

#### 次第4. その他

##### 【特定健診の実施期間に係る検討状況について(保険年金課より報告)】

国民健康保険の特定健診の実施期間について、秋冬を避けたコンパクトな受診期間とすることについては是非検討するべきとの御意見を前回部会で頂くとともに、栗東市と合同実施していますけん診検討委員会におきまして、医師会長様からも同様の御意見を頂戴しております。これに加えまして、現在新型コロナウイルス感染症の第3波も到来している中で、市としても特定健診の実施期間について検討を進めており、その状況について報告させていただきます。

直近の令和元年度の実績では、草津市では特定健診の対象者数は1万6千人弱でございまして、うち概ね6,500人ほどの方が受診され、受診率は40%弱となっております。

受診券は5月末に配布していますが、毎年、1~2月に1,600人が受診され、受診者全体のうち概ね4分の1ほどがこの期間で受診されています。

一方で6月から9月の受診者数は、毎月500人から700人と少ないため、この期間で多くの方に受診させるよう勧奨しながら、冬場の受診者数を減少させてまいりたいと考えております。

例年、特定健診の未受診者に対して9月と12月に受診勧奨通知を送付していましたが、今年度は12月の勧奨をとりやめており、来年度につきましても12月の勧奨は実施しない予定でございまして。

また、来年度からは5月末に受診券を一斉送付する際に、健診の早期受診に御協力をお願いする広報資材を用いて、受診行動を変えていけないかと検討しております。

各医療機関様には多大な御負担をおかけしておりますが、御協力を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。

(部会長) それでは、これで本日予定されておりました内容はすべて終了いたしました。これをもちまして、令和2年度 第2回 草津市健康づくり推進協議会健康増進部会を終了します。それでは司会を事務局へお返しします。

(事務局) ありがとうございます。草津市糖尿病対策ガイドライン(第4期)につきましては、本日賜りました御意見等を踏まえまして、第2回健康づくり推進協議会にて報告させていただきますので、御了承ください。また、現委員の皆様におかれましては、令和3年6月末日をもって任期満了となります。2年間にわたり、貴重な御意見等を賜りありがとうございました。新委員につきましては、来年度に各団体宛てに改めて委員の委嘱を御依頼申しあげます。来年度も、本健康増進部会において、糖尿病対策を協議したいと考えておりますので、引き続き御協力をよろしくお願いいたします。本日は、長時間お疲れ様でした。お気をつけてお帰りください。